

つながり、支え合い、 ともに生きる

生物学の視点から、未来の公衆衛生を考える

生態系の一部でもあるヒトの本質や、ヒトの老いの意味 一
講演を通して、お互いを理解し、多様性を活かして、
地域のつながりを促していくことの重要性を考えます。
公衆衛生の観点から、よりよい地域づくりや環境づくりのために、日頃か
ら一人一人が意識できることについて考え、
今後の活動に活かしませんか。

講師

小林 武彦 氏

(東京大学定量生命科学研究所教授)



生物はなぜ死ぬのか
(講談社現代新書)

日時

2026年2月20日 金 14:30~16:00

会場

埼玉会館 小ホール
さいたま市浦和区高砂3-1-4

講演内容

2040年にかけての少子高齢化や人口構造の変化、多様な環境問題など、昨今の公衆衛生を取り巻く地域の課題は日々大きく変化し、その背景や要因も複雑化しています。このような状況の変化に対して、公衆衛生に携わる私たちには、課題に対して柔軟に対応する力を持つとともに、職種の壁を越えた連携と協力をを行い、住民と協力をしながら、皆が安心して暮らすことができる地域や環境づくりを推進していく役割が求められます。

本講演では、講師の研究の知見をもとに、生態系の一部でもあるヒトの本質や、ヒトの老いの意味という切り口から、多様性を活かし、お互いを理解し、地域のつながりを促していくことの重要性をお話しいただきます。

公衆衛生に携わる観点から、今後よりよい地域づくりや環境づくりのために、日頃から一人一人が意識できることについて考え、今後の活動に活かしませんか。

講師紹介



東京大学定量生命科学研究所 ゲノム再生研究分野 教授

小林 武彦 氏

横浜生まれ、日本学術会議会員。

九州大学大学院修了(理学博士)、基礎生物学研究所、米国ロシュ分子生物学研究所(製薬企業)、米国国立衛生研究所、国立遺伝学研究所、東京工業大学(現東京科学大学)等を経て、現職に至る。生物科学学会連合代表、日本遺伝学会会長を歴任。

伊豆の海、箱根の山そして富士山をこよなく愛する。

著書にベストセラー「生物はなぜ死ぬのか」「なぜヒトだけが老いるのか」(共に講談社現代新書)、「DNAの98%は謎」(講談社ブルーバックス)、「寿命はなぜ決まっているのか」(岩波ジュニア新書)。近著に「なぜヒトだけが幸せになれないのか」(講談社現代新書)。

申込方法

第27回埼玉県健康福祉研究発表会申込フォームからお申し込みください。

対象者

- ・ 保健・医療、福祉、環境衛生等の業務に従事する自治体職員等
- ・ 保健・医療、福祉、環境衛生等の調査・事業に取り組む大学等教員
- ・ 本県の保健・医療、福祉、環境衛生行政分野に興味のある学生
- ・ その他本講演に興味のある方

お申込みはこちら



申込期限

2026年2月13日(金)17時まで

お問合せ先

埼玉県保健医療部保健医療政策課 研修・国際協力・免許担当

TEL 048-830-3519

E-MAIL a3510-11@pref.saitama.lg.jp